

# 定例会 9月会議

定例会9月会議は、9月10日から13日の4日間の会議日程で開かれ、決算認定、各会計補正予算、条例の制定、人事案件の議案について慎重に審議しました。

# 決算を認定

# すべての会計

令和元年



決算特別委員会の様子

平成30年度の決算認定は、決算特別委員会に付託され慎重に審議されました。その結果、一般会計決算認定は賛成多数で認定し、その他の特別会計決算認定については全会一致で認定しました。

## 会計別決算額

(千円未満切捨て/△はマイナス)

会計名	歳入	歳出	差引	
<b>一般会計</b>	69億2,920万6千円	66億6,839万3千円	2億6,081万3千円	
<b>特別会計</b>	国民健康保険	13億9,977万4千円	13億1,864万6千円	8,112万8千円
	後期高齢者医療	1億4,075万1千円	1億4,030万2千円	44万9千円
	介護保険	13億6,673万円	13億3,279万4千円	3,393万6千円
	簡易水道事業	3,505万円	3,478万円	27万円
	公共下水道事業	2億8,078万4千円	2億8,040万円	38万4千円
	農業集落排水事業	7,600万6千円	7,586万4千円	14万2千円
	霊園整備事業	264万3千円	255万4千円	8万9千円
<b>小計</b>	33億173万8千円	31億8,534万円	1億1,639万8千円	
<b>一般・特別会計決算合計</b>	102億3,094万4千円	98億5,373万3千円	3億7,721万1千円	
<b>上水道事業会計 (消費税抜き)</b>	収益的収支	3億9,811万円	3億4,727万4千円	5,083万6千円
	資本的収支	1億9,406万3千円	3億3,816万6千円	△1億4,410万3千円

※ 上水道会計 資本的収支の不足額については、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、建設改良積立金で補てんしました。

### 決算質疑

**問 須藤俊一議員** 不納欠損額が増えているが。

**答 税務課長** 執行停止3年、時効5年の規定があるので、年ごとの変動があるが、適切に徴収している。

**問 近藤正光議員** 法人町民税、固定資産税の減額の要因は。

**答 税務課長** 法人町民税は1社の業績変化が影響、固定資産税は評価替えや、課税免除などが在ったため。

**問 佐藤喜一議員** 震災復興特別交付税が増えているが、内容と今後の見込みは。

**答 総務課長** 側溝堆積物除去事業などで増えている。数年は同様の交付が見込まれる。

**問 鈴木政夫議員** 防犯灯の要望で実施されない件数、又理由は。

**答 住民課長** 55件の要望で27件に新規対応、28件が未施工。主に設置要件に該当しないものが、見送りの大きな理由。

**問 鈴木政夫議員** 防犯灯の設置基準が厳しすぎるのでは。

**答 住民課長** 予算の中で設置要件に該当したものを施工している。

**問 鈴木政夫議員** 予算を絞っているのか。

**答 総務課長** 必要などところに付ける考え方で予算配分している。

**問 菊池忠二議員** 行旅死亡人の火葬費、埋葬費用の内容は。

**答 健康福祉課長** 行旅死亡人は行き倒れや身寄りのない人の火葬、埋葬費用。昨年は1名該当者がいた。

**問 鈴木政夫議員** 有害鳥獣駆除費のイノシシ捕獲は実際2万円ではないのか。

**答 産業振興課長** 町からは1頭あたり2万円の補助、その他の団体の費用は把握していない。

**問 古市泰久議員** 商品開発事業費の委託事業の内容は。

**答 産業振興課長** 季節外のイチゴの活用を目的にJAと共にイチゴジェラートなどを作った。

**問 古市泰久議員** 農業体験ツアーの内容は。

**答 産業振興課長** 年2回、首都圏より農業体験などで計46名が参加した。

**問 鈴木政夫議員** 工場誘致費の内容は。

**答 産業振興課長** PRやガイドブック作成、企業訪問などに使用。

**問 古市泰久議員** 観光ガイド育成事業の内容と成果は。

**答 地域創生課長** ㈱ルネサンスに委託し講師による講座、ガイド登録者の先進地視察、マニュアルの作成などを行った。30年度は66件、1,348人を案内した。

**問 古市泰久議員** 歴史的風致維持向上計画の視察の内容は。

**答 地域創生課長** 群馬県甘楽町など2か所を先進地視察した。本町との類似点が多く誘客への周知や方法を学んできた。

**問 菊池忠二議員** 観光協会への助成金の内容は。

**答 地域創生課長** 7支部への助成金や観光PR動画の作成、体験型プログラムの開発、指差しナビなどアプリを作成した。

**問 須藤俊一議員** 道路の草刈りの単価は。

**答 整備課長** 町道は1㎡あたり270円、県道は1㎡あたり70円。

**問 古市泰久議員** 語学指導青年招致事業の人員費は。

**答 とも教育課長** 給与は月額30万円〜33万円。



# 一般会計決算認定をめぐり 討論が行われました

決算認定討論抜粋

## 反対討論（鈴木 政夫議員）

平成30年度棚倉町一般会計決算認定に反対の立場で討論致します。平成30年度の一般会計決算は、歳入総額69億2,920万6千円、歳出総額66億6,839万3千円となり、歳入歳出差引2億6,081万3千円で剰余金が2億6千万円となりました。

2億6千万円もの剰余金が生ぜられるのか。不適切な財政運営であったと言わなければなりません。歳出では昨年12月、突如(株)ルネサンス棚倉が赤字経営だとして、これまでなかった業務委託料として6,000万円、無利子の貸付金4,000万円、合計1億円の町費が投入された事態は、改めて町と第3セクターの関わりが問われる事態となりました。

また、町民の中には、日常不測に要望が山積しています。特に人口減少の中で、子育てと支援策が重要で、学校給食支援策は、極めて立ち遅れている。

企業誘致もほとんど取組んでいない。

昨年7月から始まったタクシー利用券事業は、町内の実情をあまりにも無視した内容で進められています。

行政区から要望されている防犯灯設置にも応えていない。これらは実態の一部にしかなりません。

こうした中で、2億6千万円の剰余金とはいったい何なのか。本気になって町と町民のことを考えて行政が行われているのか。極めて残念です。以上問題点の一部を指摘し、反対討論といたします。



## 賛成討論（佐川 裕一議員）

平成30年度棚倉町一般会計決算認定について、賛成の立場から討論を行います。

平成30年度決算は、歳入べーすで、総額で約66億6,839万円であり、前年度よりも約2億6,070万円減となりましたが、これは前年度までの各種ハード事業の減が大きな要因ではありますが、町税等が大きく減少する中でも、効率的に事務事業を執行してきた成果と判断できます。特に、地方創生事業に積極的に取り組むとともに、社会インフラ環境の整備充実に向けた事業を展開するほか、放射能による風評被害対策として「米の全量全袋検査事業」や、「ふくしま森林再生事業」「道路側溝堆積物撤去事業」など、住民の安全・安心の確保に取り組み、評価でざるものがあります。

さらに、タクシー利用料の助成事業を開始したほか、各種福祉・健康関連事業、産業振興対策、消防防災対策、学方向

上・キャリア教育の推進、文化財保護事業等にも積極的に取り組んでおり、厳しい財政状況の中でも住民福祉向上のため、各種事業を効果的に展開してきた平成30年度の決算の内容を、評価でざるものと考え、本議案に対する賛成討論といたします。



# 補正予算 タクシー利用料金助成事業など 一般会計8,694万1千円を増額

## 補正予算の主な内容

### ◆一般会計

**歳入**  
森林環境譲与税や国庫支出金、県支出金、繰入金、繰越金などの増額補正です。

**歳出**  
タクシー利用料金助成事業費やルネサンス棚倉施設改修費、森林環境基金積立金、道路及び学校施設の修繕費等の増額補正です。



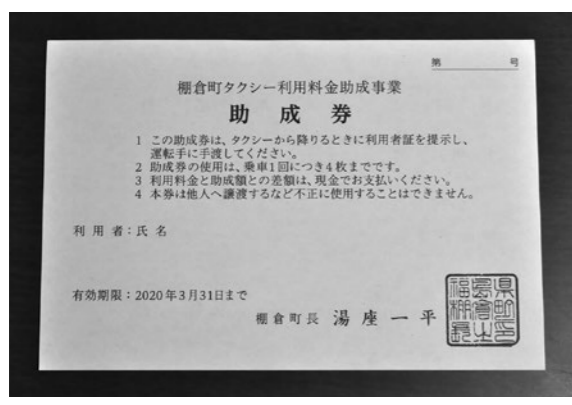
**歳入**  
**問**（藤田智之議員）森林環境譲与税の今後の見通しは。  
**答**（総務課長 令和3年度までは、7,587千円の交付。その後は、増額される見込み。

**歳出**  
**問**（藤田智之議員）地域交通対策費の増額内容は。  
**答**（産業振興課長）タクシー利用料金助成に対する事業費。7月末現在、タクシー券の交付者数815名、交付枚数38,448枚、使用枚数9,724枚。

**問**（近藤正光議員）ルネサンス棚倉費の工事補正の内容は。  
**答**（産業振興課長）防火設備の修繕工事、電話機の交換工事、クラブハウスの空調修繕工事を実施予定。

**問**（菊池忠二議員）経済センサス基礎調査費の内容は。  
**答**（総務課長）5年に1回行う調査で企業の売上、従業員数等の企業の経済調査を行う。

**問**（須藤俊一議員）幼稚園費の減額補正の内容は。  
**答**（総務課長）退職した職員の新しく入った人件費によるもの。



利用が増えているタクシー助成券

## 定期監査が行われました

（10月23日～11月6日までの7日）  
各課担当職員、外部団体の職員から聞き取りをしながら、書類等の確認を行い、適正に執行されているか確認をしました。

**実施した外部団体**  
ルネサンス棚倉、棚倉町土地改良区、棚倉町シルバー人材センター、棚倉町社会福祉協議会、棚倉保育園、棚倉町商工会、町工房たなぐら、棚倉活性化協会、棚倉町観光協会



ルネサンス棚倉の監査

# 条例の改正及び制定

◇ 棚倉町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

・国が定める印鑑登録証明事務処理要領の一部改正に伴い、印鑑登録原票及び外国人用の証明の方法等についての改正

◇ 棚倉町会計年度任用職員給与及び費用弁償に関する条例

・地方自治法及び地方公務員法の一部改正により、臨時的任用職員等の任用根拠が明確化され、来年4月1日より施行されるため条例を制定

◇ 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備等に関する条例

・会計年度任用職員制度の施行に伴い、関係する条例の一部を改正

◇ 棚倉町立幼稚園利用者負担額等及び送迎バス使用料に関する条例の一部を改正する条例

◇ 棚倉町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例

◇ 棚倉町保育の必要性の認定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

・子ども子育て支援法等の一部が改正され、10月1日から幼児教育・保育の無償化が実施されるため、関係する条例を改正



◇ 棚倉町森林環境基金条例

・間伐や路網等の森林整備、森林整備を担う人材育成・担い手の確保、木材利用や普及啓発等を推進するための財源確保と継続な事業を遂行するため制定



◇ 棚倉町道路占用料等条例の一部を改正する条例

◇ 棚倉町河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例

・10月1日から消費税率が引き上げられたことに伴い、消費税相当分を転嫁した占用料に改正

# 通年議会

令和2年1月1日スタート

棚倉町議会では通年議会を導入するため、棚倉町議会の会期等に関する条例制定や関係条例等改正案を議員発議により(※1)定例会9月会議に提出し、全会一致で可決しました。

## 発議第3号

棚倉町議会の会期等に関する条例

## 発議第4号

棚倉町議会委員会条例の一部を改正する条例

## 発議第5号

棚倉町議会会議規則の一部を改正する規則

## 会議の運営について

● 通年議会(※2)の会期を1月1日から当年の12月31日までの1年間と決めました。議案審査や一般質問は、従来どおり3月、6月、9月、12月で実施します。



提出議案を説明する  
鈴木政夫議会運営委員会委員長

● 議会の定例会(開催日初日)を左記のとおり決めました。

- ・ 3月 第2水曜(ただし、第2水曜日が11日以降の日となるときは、第1水曜日とする)
- ・ 6月 第2水曜日
- ・ 9月 第2火曜日
- ・ 12月 第2水曜日

● 定例会での会議は、開会する年を冠して「(元号)〇年棚倉町議会定例会〇月会議」と呼称します。(例：令和2年棚倉町議会定例会3月会議)

## 解説

※1(議員の議案提出権)

○議会の議員は、議会の議決すべき事件につき、議会に議案を提出することができる。

(地方自治法第112条第1項)

○議案の提出にあたっては、議員の定数の12分の1以上の賛成がなければならぬ。

(地方自治法第112条第2項)

※2(通年の会期)

○議会は、定例会及び臨時会とはせず、条例の定める日から翌年の前日までを会期とすることができ

る。

(地方自治法第102条の2第1項)

○議会は、条例で、定期的に会議を開く日(定例会日)を定めなければならない。

(地方自治法第102条の2第6項)

## 人事案件

よろしく  
お願い致します



棚倉町教育委員会  
教育長の任命



松本 市郎 さん  
(玉野)

棚倉町教育委員会  
委員の任命



中野 喜久枝 さん  
(堤)

# 棚倉町議会議員一般選挙

が行われます

私たちの声を町政に反映させるための大切な選挙です。棄権しないで、必ず投票しましょう。

告示日/12月3日(火) 投票日/12月8日(日)



投票日  
12月8日

# 町政を問う



定例会9月会議では7人の議員が登壇し質疑を行いました。今回は、それぞれの視点から多岐にわたる質問がなされています。次のページからは、要点をまとめて掲載してあります。



- 1 藤田智之 議員 …………… 9ページ
  1. 定住外国人への対応は
  2. 業務改革と働き方改革の取り組みは
  3. 赤館、玉室宗珀謫居跡の整備は
  4. エサやりによる迷惑防止は
- 2 鈴木政夫 議員 …………… 10ページ
  1. 町の企業誘致活動の進展は
  2. タクシー利用券のその後改善は
  3. 福島交通 白河棚倉線廃止の真相は
- 3 菊池忠二 議員 …………… 11ページ
  1. 家庭内ゴミの集積場所と収集は
  2. キャリア教育と教職員の働き方改革は
  3. 町長の7年目を迎えた所感は
- 4 佐藤喜一 議員 …………… 12ページ
  1. 修明高校へ町としての協力体制は
  2. 太陽光発電の現況と今後の対策は
  3. 小規模宅地分譲建売分譲は
- 5 須藤俊一 議員 …………… 13ページ
  1. 福島交通 白河・棚倉線再編は
  2. 会計年度任用職員制度の内容は
  3. 取得してある土地の利用計画は
- 6 古市泰久 議員 …………… 14ページ
  1. 下水道政策は
  2. 全国学力テストの分析と公表は
  3. 町営弓道場建設は
- 7 佐川裕一 議員 …………… 15ページ
  1. カラー舗装・カラー歩道の補修は
  2. 病児保育は
  3. 有害鳥獣駆除は

## 問 定住外国人への対応は 答 管理団体と雇用主が生活をサポート

**問** 海外人材の活用が進み、当町でも多くの外国人が見られるようになってきた、町としてどの様に対応を考えるのか。

**町長** 144人、126世帯の外国人の方が住んでおり、外国人技能実習制度での住民登録者は、管理団体と雇用主が生活をサポートしている。外国人実習生の事件、事故防止、保護活動等を目的に東白川地区外国人雇用者連絡協議会に参加している。現在のところ生活する上での大きな問題はないと考えている。行政区などからも特に相談や問題事例などはない。今後も管理団体と協力して対応する。

**問** 多言語対応できる自動翻訳機の導入は。

**住民課長** 現在は無いが、今後検討したい。

**問** 残業削減の取り組みは  
**答** 週2日ノー残業デーを設定

**問** 業務の在り方や進め方を直し、働き方改革を進めることが、求められているが取り組みは。

**町長** 業務改革は振興計画や行政改革大綱を基本に機動的かつ効果的な事務執行を図るため課、係の事務分掌を見直し、組織機構を変更した。働き方改革は時間外勤務の上限の改正、毎週水曜日と金曜日をノー残業デーとしている。人材育成の為、各種研修会へ参加させ意識改革に取り組んでいる。

**問** 玉室宗珀謫居跡の整備は  
**答** 実際の場所は未特定

**問** 赤館には紫衣事件で京都大徳寺から棚倉藩に流され、後に加賀前田家の帰依を受けて芳春院を開いた玉室宗珀の謫居跡があるが整備が必要ではないか。



謫居跡への入り口

**教育長** 謫居跡は赤館山の南麓に位置する光徳寺の境内と伝わるが実際の謫居跡については特定できていない。現在の石碑は昭和5年に有志が、推測に基づき建てた。石碑までの敷砂利整備と誘導案内板や説明板を設置した、赤館跡の埋蔵文化財包蔵地内なので制限もあるが敷砂利等は検討したい。



謫居跡の石碑

**問** エサやりによる迷惑防止は  
**答** 条例は無いが指導して対応



藤田 智之

### 問 企業誘致活動は進展しているのか 答 2件あったが誘致には至らず

問 棚倉町も全国の地方自治体と同じく、少子高齢化による人口減少に直面している。棚倉町の人口も本年四月一日現在で、1万4072人で、20年前に比べ2478人の減少となっている。

20年間のトータルで、年間124人の減少となっているが、ここ10年間で年間142人となり、人口減少が一層加速している。人口減少には様々な要因があるが町内で働く場所の確保が重要と思われるが、町の企業誘致活動は進展しているのかどうか見解を求めたい。

町長 企業誘致活動の5年間の成果については、毎年開催される福島県企業誘致セミナーでのPRや福島県東京事務所との情報交換、さらには町内事業所への定期的な訪問等も実施して来たが、今まで2件程度の相談があったが、誘致には結びつかなかった。



企業誘致、福祉施設の活用を求められている棚高跡地

問 町の努力にもかかわらず、誘致に結び付かないものがあるとのことだが、依然としてオーダーメイド方式にこだわっているとこるに問題があるのではないかと産業振興課長 何故オーダーメイドにこだわっているのかと言え、工業団地をつくって成功した例というのはなかなか聞いていない。それよりも企業側が必要に応じて、面積、場所等要望を聞けるということにこだわっているのが現状である。

### 問 タクシー利用券の改善・検討は 答 一律交付を見直す考えはない

問 町内におけるタクシー利用券の導入事業は、昨年7月から、65才以上で自動車の運転免許を持たない人を対象に実施され、私も評価している。

しかし折角の事業も、その中身が問題である。それは町内一律年間48枚交付という問題について、どのような改善のための検討がなされているのか見解を求めたい。

町長 利用券は年間48枚交付しているが、この枚数については、町内各地域で利用目的によって近い遠い等発生するが、利用目的の制限、場所を特定していないので、一律に48枚を交付しているもので、現在のところ見直す考えはない。



鈴木 政夫

問 町役場、銀行、医院、介護施設、体育館、文化センター、福祉センター、等全て棚倉地区にあり、これらを利用するには遠い、近いが発生する。そこを無視した一律交付は改めるべきだ。

産業振興課長 昨年度の利用状況は48%だが、利用率が上がれば、検討が必要と思うが、現在は見直す考えはない。

### 問 福島交通白河棚倉線廃止の真相を問う 答 町の負担額が多額であり、廃線に

問 福島交通が運行してきた白河・棚倉線の廃止が発表され関係地域に衝撃を与えている。その真相と今後の対応を問う。

町長 この路線については、運賃収入だけでは賄いきれず、負担額が多額になることから白河市と協議し9月末で廃止することとした。



菊池 忠二

### 問 ルール無視のゴミ出しはあるのか 答 毎年10件程相談がある

問 ルール無視のゴミ出し対応は。町長 排出者が特定されれば個別に指導している。

問 家庭内ゴミ処分、町の役割は。町長 ゴミの収集、運搬、処分は法律により町に処理責任がある。

問 全町で生ゴミ収集頻度が週2回、平等にならないのか。住民課長 パッカー車2台の運用上現行の運搬状況が最大である。

問 お盆のお供え物の出し方は収集場所の外なのは何故か。住民課長 この時期だけ町内業者と別契約なので町が指定する場所になっている。

問 移住者、アパート住民が気兼ねなくゴミ出し出来る集積所のモデリングなどを計画されては。住民課長 手法は色々あるが現在を基本として良くなるのであれば改定していく。



ルールが守られている集積所

### 問 キャリア教育のルーツと導入理由は 答 教審の提言、急激な変化に対応

問 他町村からの視察に資する教員の負担はないのか。教育長 普段の授業の視察をしてもうただけで負担はない。

問 県内で導入されている市町村は。教育長 福島市、いわき市、その他学校単位で取り組んでいる。

### 問 教職員の長時間労働の主な原因は 答 本町もあって出勤時間と退勤時間を記録し把握している

問 長時間労働の主な原因は。子ども教育課長 特定出来ないが特殊性と考えている。

問 教職員の長時間労働の主な原因は。教育長 本町もあって出勤時間と退勤時間を記録し把握している。

問 教職員の長時間労働の主な原因は。教育長 本町もあって出勤時間と退勤時間を記録し把握している。

### 問 働く場所の創出は 答 積極的な企業誘致や地域産業の基盤強化を図る

問 働く場所の創出は。教育長 福島大学連携事業を通して大学生や子供達が教職員の魅力を感じる機会になればいいと考えている。

### 問 七年目の町長、少子化の取り組みは 答 各種政策を総合的に取りこむ

問 七年目の町長、少子化の取り組みは。教育長 福島大学連携事業を通して大学生や子供達が教職員の魅力を感じる機会になればいいと考えている。

問 農林業の後継者は。町長 多様な担い手を確保したいと考えている。

問 商工業の活性化は。町長 魅力ある商工業を目指す。

問 選挙の応援の考え方は。町長 相手との友好、町の政策実現の期待し得る候補者へ出席している。

### 問 修明高校へ町としての協力体制は 答 交流連携を図りキャリア教育を推進

**問** 統合10周年を迎える修明高校のキャリア教育の協力体制は。  
**教育長** キャリア教育では、社会的自立、職業的自立に向けて必要な意欲や能力を育成するため小・中学校、高校と継続して連携を図ることが必要であり、修明高校と協議をしながら、キャリア教育を推進していく。



統合10周年を迎えた修明高校

**問** 生徒より要望されている東中居バス停の屋根設置、中豊駅トイレの設置は。  
**町長** バス停の屋根、トイレ設置は難しいと回答されているが、引き続き、福島県鉄道活性化協議会等を通じてJR東日本に要望していく。

**問** 不登校気味の生徒の受入れ等、修明高校鮫川分校の今後と進路指導は。  
**教育長** 県立高校統合構想の内容を見きわめながら検討していくことになる。

**問** 住宅用発電補助の今後の方針は  
**答** 補助終了の市町村もあり今後検討

**問** 住宅用太陽光発電補助件数とは。  
**町長** 平成22年度から1キロワットあたり4万円、上限12万円

**問** 産業用太陽光発電の管理点検と指導は。  
**産業振興課長** 県との連携を深めパトロール、現地調査を実施していく。



町内に設置されている産業用太陽光発電

とし、平成30年まで224件に補助金を交付。

**問** 太陽光発電蓄電池の補助事業の取り組みは。  
**産業振興課長** 蓄電池の補助事業については、今後、調査研究をしていく。

**問** 小規模分譲・建売分譲入居の行政区加入は。  
**町長** 必要に応じて行政区長と相談しながら、加入促進を図っていききたい。

**問** 民間分譲地における下水道工事費の負担は。  
**上下水道課長** 当初計画の下水道本管のみが、受益者負担金の算定基準となっている。分譲地の下水道工事費は、計画に入っていないため、開発地は事業者負担としている。

**問** 分譲地建売分譲の下水道布設費は  
**答** 開発業者の負担として



佐藤 喜一

### 問 福島交通 白河・棚倉線再編の状況は 答 刈敷坂棚倉間を白河市の負担で運行

**問** 現在までの白河市・福島交通との交渉経過、内容は。  
**町長** 昨年より7回にわたり協議を行ってきた。経過については東地区から修明高校に通学している生徒がいる為白河市が独自路線として運行。

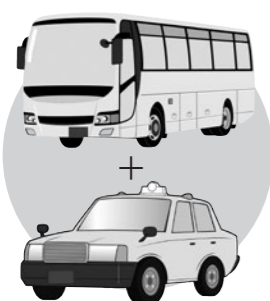
**問** 交通弱者(学生、高齢者)への町の考え方今後の取り組みは。  
**町長** タクシー利用と既存の公共交通機関を組み合わせ、対応頂きたい。

**問** 堤地区にはなぜ停車しないのか、又、白河市が求める負担金を出す考えはないのか。  
**町長** 運行距離の短縮の為にバイパス路線となりバス停を設けない。負担金は利用者が少ないため出す考えはない。

**問** 新路線の運行経費は490万円、そのうちの150万円もだせないのか、それが堤地区だけ止まらない大きな要因ではないのか。他の路線には大金を負担しているではないか。  
**産業振興課長** 棚倉町に負担金を求められたが利用者が少ない為出さない結論になった。



堤地区に止まらない路線バス



**問** 「会計年度任用職員」制度の内容は  
**答** 嘱託職員は働く日数制限がなくなる

**問** 任用根拠の明確化、適正化、職の再設定は。  
**町長** 臨時的職員、特別職非常勤職員以外が会計年度任用職員に設定。

**問** 改正により臨時、非常勤職員は何名予定しているのか、町の財政負担の額、国県からの交付金の見込みは。  
**町長** 人数は約90名程度 財政負担は令和2年度2,600万円、3年度3,400万円に増加 財源は地方財政計画で処置。

**問** 取得してある土地の利用計画は  
**答** 振興計画実施計画に計上

**問** 保健福祉センター西側の駐車場用地の整備計画と利用は。  
**町長** 今年度中に砂利の駐車場として利用出来る様に整備をする。

**問** 平成28年に3,600万円取得したが3年経過しても共用されず必要だったのか。  
**総務課長** 開発行為の申請に向け事務作業をしている。年度内には完成したい。

**問** 清戸作地内の取得した土地の利用計画の策定状況、田楽橋、松木川の改修工事についての関係機関との協議は。  
**町長** 現時点では策定されていない。県南建設事務所、棚倉土木事務所と事前相談を昨年度行っている。



須藤 俊一

### 問 公共下水道事業の今後の政策は 答 事業再開は、処理場の稼働70%

問 今後の方針は。

町長 現在の稼働率は42.9%である。経営戦略プランの策定により、接続率の向上に努めている。更に、ストックマネジメント事業に取り組んでいる。

問 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換推進策は。

町長 国・県の補助金を受け、十人層まで設置する際に人槽に合わせた補助金を交付している。

問 補助金の額は。

上下水道課長 転換の場合、5人槽で33万2千円。7人槽で41万4千円。8〜10人槽で58万8千円の額を交付している。

問 今年度より新たに設置の配管に係る補助金制度を設けたが補助金額は。

上下水道課長 10万円を交付することとした。

問 この制度の周知方法は。上下水道課長 各業者への案内と広報に掲載する予定である。

問 全国学力テストの分析結果は

答 小中学校とも良好な結果であった

問 分析結果の内容は。

教育長 小学校の国語、中学校の国語、数学は県及び全国平均を上回り、小学校の算数、中学校の英語は県及び全国平均とほぼ同程度であった。

問 今後の対策は。

教育長 地域の力を生かし、キャリア教育を基盤とした学校改革に取り組んでいく。

問 市町村別結果公表に至った経緯は。

教育長 町民の方々に説明責任を果たすべく、公表すべきである

と教育委員会で判断し昨年度より公表した。

問 公表の手段は。

教育長 昨年度は広報でお知らせし、町のホームページで公表した。

問 広報において公表しては。

子ども教育課長 教育委員会の

問 町営弓道場の早期建設の意向は

答 予算の関係上厳しい状況にある

問 露天の弓道場では、練習や試合等大きな支障がある。現状認識は。

教育長 ルネサンス棚倉敷地内や馬場都々別神社境内の露天弓道場や、隣接市町村の弓道場を利用している実態は確認している。



ふるくわ たくし 古市 泰久

問 弓道は日本古来の武道であり、城下町としての位置付けと普及振興すべきスポーツの一つであると思うが。

教育長 スポーツ振興上支援すべきスポーツの一つであると認識している。他のスポーツと同じく、できるだけ限りの支援をしていく。

問 棚倉弓道会からは、棚倉高校の廃材を利用して建設してはどうか、という要望もあるが。

教育長 課長とも相談し検討する。



露天試合の風景

### 問 カラー舗装・歩道の補修を問う 答 実施計画の中で検討



劣化による傷みの目立つカラー舗装

歩道全体の改修が可能かどうか県と協議をしながら、実施計画の中で検討。

問 散策路の安全や見栄えなどどのように考えているか。

町長 安全においては道路パトロール等により、安全確保に努めている。見栄えにおいては工法や材質等を検討しながら、景観に配慮した整備や補修となるよう努めていく。

問 病児保育を問う

答 ニーズ調査の結果も考慮し、検討

問 病児保育事業を考えてみては。

教育長 全国的に見れば、年々施設が増加し、利用者も増えるなど、そのニーズは高まっているものと考えている。そのため、今年度、策定予定の



今後、病児保育室の開設を期待したい 塙厚生病院

問 近隣町村と共同で塙厚生病院で行うことを考えたらどうか。

教育長 病児保育事業の必要性はあるものと考えているので、今後近隣町村の意向も確認しながら、検討したい。



さわがわ しんや 佐川 裕一

問 有害鳥獣駆除を問う

答 被害予防を徹底

問 どういった有害鳥獣が確認されているのか。また被害程度は。

町長 イノシシ、ハクビシン、シカ、カワウなど。

平成30年度末の被害状況は、イノシシ被害は、水稲、ジャガイモ、大根、里芋で約15アールの被害面積で、被害金額が約17万8千円。カワウの被害は、アユ、ウグイ、コイで被害量が約1,482キログラムで、被害額が約377万円。ただし、久慈川全域での被害状況となっており本町分については把握していない。

問 今後の対策は。

町長 農家の皆さんに対し、圃場周辺の環境整備をお願いし、イノシシの駆除と電気柵整備を拡大しながら被害予防を徹底し、農作物の被害防止に努める。

# 特集 台風被害に対する議会の対応

10月12日に接近した台風19号は、本町にも大きな被害をもたらしました。町議会としましても、この災害に迅速に対応するため、活動を行っております。今後も、一刻も早い復旧・復興のために尽力してまいります。



社川地区 社川堤防決壊（一色字太夫内地内）

## 町内の現地調査

10月21日、棚倉町議会では被害の状況について棚倉地区・社川地区・高野地区・近津地区、6箇所の現地調査を行いました。豪雨による堤防の決壊、護岸の崩落、道路法面の崩落、道路の破損、水田への土砂流入等の状況を調査し、被害の大きさを確認しました。



社川地区 県道棚倉・矢吹線法面崩落（堤字塚田内地内）



高野地区 水田土砂流入（漆草字仲折戸内地内）



棚倉地区 町道風呂ヶ沢檜木線法面崩落（檜木字松沢内地内）



近津地区 久慈川護岸崩落（寺山字豊岡内地内）

- ふくしまの森林・林業再生事業期間の延長
- （仮称）林業アカデミー設置
- 県立高等学校改革前期実施計画の再編整備見直し

## 県へ要望書提出

東白川地方町村議会議長会

8月21日から22日、郡内4町村議長・副議長（東白川町村議会議長 会主催）が出席、宮川政夫県議会議員も同席し、県へ要望活動を行いました。本町議会からも松本英一議長、蛭田卓雄副議長が出席しました。

### ふくしまの森林・林業再生事業期間の延長

福島県の森林整備は、東日本大震災と原発事故による放射性物質の影響を受け、震災前の5割程度に落ち込んでいる状況にあり、「ふくしま森林再生事業」は東白川地方において森林・林業・木材産業を再生するうえで、最も効果的な事業であるため、予算の一本化や事務手続きの簡素化を図るなどの森林再生事業の促進を強く要望しました。



### （仮称）森林アカデミー設置

福島県では、林業の担い手不足、森林荒廃が懸念される現状を踏まえて林業経営の中心的人材を育てる（仮称）林業アカデミーの開設する方針を固めました。東白川地方は、古くから良質材の産地として県内有数の林業地域であり、国有林を含む行政と事業者の連携が強化されており様々の分野からのサポートを得やすい環境が整っている東白川地方への設置を強く要望しました。



県農林水産部 松崎浩司部長へ要望書を提出

### 県立高等学校改革前期実施計画の再編整備の見直し

平成31年2月8日、福島県教育委員会から2020年度に修明高等学校、鮫川校の生徒募集を停止、2023年度に白河実業高等学校に工業科を集約して、塙工業高等学校を統合、白河実業高等学校の農業科を修明高等学校に集約する「県立高等学校改革前期実施計画」が公表されました。

この計画は、東白川郡内の生徒から高校進学を選択肢が狭められ、工業科への進学を希望する生徒や保護者は、遠距離通学による身体的、精神的、経済的負担を強いられることとなります。また東白川郡の地理的条件や公共交通機関の状況等から通学が困難になり、生徒の教育の機会が著しく損なわれることとなります。

「県立高等学校改革前期実施計画の見直しを図り、修明高等学校の農業科の集約、修明高等学校鮫川校の生徒募集停止の見直し、修明



高等学校鮫川校を各学年1学級存続させること、「白河実業高等学校の工業科の集約の見直し、塙工業高等学校を各学年2学級もしくは1学級存続させること」を強く要望しました。



県教育委員会 鈴木淳一教育長へ要望書を提出



# ルネサンス棚倉調査特別委員会

## 定例会において 中間報告を行いました

ルネサンス棚倉調査特別委員会は昨年、東京電力の損害補償が打ち切られた事で経営状況が悪化し、町が資金援助することになり我々議員も、委員長、副委員長を速やかに選出し8名の委員によって、ルネサンス棚倉の今後のことについて調査すべく平成30年12月14日に設置されました。

第2回の委員会で今後のスケジュールの決定及び株式会社ルネサンス棚倉に経営改善計画書の提出を求め、その計画書を中心にその後、ルネサンス棚倉に於いて改善計画のスケジュールや改革のあり方、町民の意見、設備の老朽化対策、従業員の意識改革、新しいイベントの創出、営業体制のチェック、キャッシュフローの推移、客層の変化など、ルネサンス棚倉側と、産業振興課の皆様と多岐にわたって、調査研究を行いました。

令和元年6月18日には、かねてから計画していた会津美里町の3箇所の温泉施設の中で、特に宿泊出来る温泉施設ほつとびあ新鶴を中心に、会津美里町振興公社の皆様と会津美里町職員の皆様から、貴重なご意見を拝聴しました。

各施設とも建設から24年が経過し施設の老朽化対策などルネサンス棚倉と類似し、営業体制はネット型地域情報サイトの活用、新聞、テレビ広告、ミニコミ誌などで、利用客の減少に対応し、町公共施設等総合管理計画及び町温泉施設利活用処分方針により、検討を行っている旨は、令和元年 定例会6月会議議事録より報告しました。12月会議議事の最終報告に向けて、更なる調査研究を進めますが、ここまでを中間報告といたします。

委員長 古市 泰久

## 行政視察研修報告

10月16日、埴町「湯遊ランドはなわ」で研修を行いました。

■研修内容  
「町民サービス・集客人口を増やす取り組みについて」  
株式会社 埴町振興公社

(第三セクター)で運営

資本金 1億800万円

埴町の出資額(出資割合)

55,000千円(50.9%)

指定管理による管理 令和元年度より、指定管理料年25,000千円を町から公社へ支出。

町内各世帯に日帰り入浴割引券の配布、町内利用者の無料送迎、健康講座の開催、高圧酸素カプセルの導入、岩盤浴施設の導入(町民価格の設定を予定)、各行政区敬老会の受け入れ(送迎付き)の町民サービスを行っている。

集客人口を増やす取り組みは、都市交流先の宿泊受け入れ(東京都練馬区(保養施設に認定)・葛飾

区)、モニターツアーの実施、大学関係の合宿受け入れ、自動車教習所合宿免許生の受け入れ、平日ビジネスプランの実施、町担当課と振興公社管理職との定例打合せを実施している。

今後、ルネサンス棚倉の運営等について、参考となる研修となりました。

同日、午後からルネサンス棚倉において、森田支配人、担当課職員から「現在の進捗・今後の見通しについて」調査を実施しました。



湯遊ランドはなわにて研修

- 委員長 古市 泰久
- 副委員長 菊池 忠二
- 委員 鈴木 政夫
- 委員 藤田 智之
- 委員 佐川 裕一
- 委員 和知 裕喜
- 委員 蛭田 卓雄

# スクールバス導入検討される

## 事件名

今後の遠距離通学児童の

通学支援について

調査日 10月3日

平成30年4月に当委員会で現在の通学支援の状況を調査し、特に中学校では高野地区のみスクールバスが運行されていることや、小学校を含め家族の送迎が多く見られることから地域ごとの実情に合った検討と全町的なスクールバスの導入を要請した。

その後、教育委員会、子ども教育課で対応が検討され、令和3年4月からスクールバスの導入が進められている為、内容などについて、委員会を開催し説明を求めた。

## ○支援対象範囲の基本的な考え方

各小学校については、概ね2km、中学校では概ね5kmを超える地域の児童生徒について地域性(大字、

字)などを考慮しスクールバスや公共交通機関により支援を行う。

・通学支援対象者(平成30年度)

小学生 126名

中学生 101名

・概算経費

スクールバス購入費

5台 約3,900万円

・運行経費

7台 約2,100万円

(運行業務委託、維持費、燃料費など)

・公共交通機関による支援

約300万円

## ○実施予定 令和3年4月

公共交通機関を利用することやバスは28人乗りバスの購入を予定し、自己負担については原則無償の予定で、また、詳細については未定の部分も多く今後、検討されることなどの説明があった。

委員からは、通学支援の導入を評価するとともに、よりきめ細や

かな対応とスムーズな導入や、できれば時期を前倒しした導入などを期待する意見があった。



子ども教育課から説明を受けた

## ◇厚生文教委員会

- 委員長 和知 裕喜
- 副委員長 藤田 智之
- 委員 蛭田 卓雄
- 委員 藤田 光
- 委員 佐藤 喜一
- 委員 近藤 正光
- 委員 鈴木 政夫

## 議員研修

10月10日、県南地方町村議会正・副議長セミナー及び東白川地方町村議会議員研修会がルネサンス棚倉で開催されました。演題「地方創生と議会の役割ー住民の代表として地方議員のチェック機能をいかに高めるか」を東北大学情報科学研究科河村 和徳氏の講演を聴き、地方議会・議員のあり方を研修しました。



# 言わせて一言

## 人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

### 住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

八槻に住んでいる小濱です。普段あまり町政について考えたことはありませんでしたが、今回の依頼をきっかけに改めてこの町について考えてみました。

私の祖母は町から配布されるタクシー券を利用して出かけたり、週に一度のいきいきくらぶに参加したりと、楽しみをもって生活しています。これはほんの一部の例に過ぎませんが、自分たちの日常生活が町の政策によって支えられていることを実感しました。

では、一町民として心配なことは何なのか。それは人口が減りつつある棚倉の5年後、10年後です。その心配を解消するために何ができるのか。棚倉はスポーツが盛んな町だと思います。優秀な指導者に支えられ活躍する団体や子供たちをバックアップできるような政策はどのようでしょう。

例えば、ルネサンス棚倉の人工芝を拡張して大会を主催する。そうすることで合宿なども行われ自然と人も集まるようになるのではないのでしょうか。また地元選手の練習環境も良くなるので、競技レベルの向上にもつながるでしょう。何年か後に棚倉出身のプロ選手をテレビの前で応援する…そういった長い目で棚倉を活性化できるような環境があればいいと思います。



八槻にお住まいの  
小濱三裕さん

堤にお住まいの  
小山田正幸さん



令和元年10月、棚倉町の人口は1万4千人を切るうとしています。少子化や高齢化の対策もいろいろ講じられていますが、なかなか人口増とはいかないようです。私には3人の子供もいます。進学を機に棚倉を離れている子、更には離れようとする子。この子たちは将来、棚倉町に戻ってきてくれるのだろうか、私もまた高校進学を機に町を離れ以降15年ほど県内各地で生活をしておりましたが、地元に戻りたいと思つて気持ちが強くなり30歳の時に棚倉町に戻りました。

来年の春には、棚倉町を離れていく子ども達が多くいると思います。この子ども達が将来、戻りたいと思える棚倉町、住みたいと思える町づくりが必要になると思います。若者が集う魅力ある町となるように議会、町、住民をあげて盛り上げ、活気ある棚倉町となるように期待したいと思つています。



## あなたも議会を傍聴しませんか

傍聴の手続きは、役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

### 定例会12月会議日程のお知らせ (予定)

正式日程は、12月上旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。



12月20日(金) 本会議

12月23日(月) 一般質問

12月24日(火) 一般質問

## 編集後記

朝夕の気温も低下を増し、日中の寒暖差で体調を壊してしまう方が多くなっている今頃ですが如何でしょうか。

広報委員会では、できるだけ分かりやすい内容で皆様に町の様子が伝わるよう努力をしているところです。

議会だよりを読んで少しでも、ご理解いただければ幸いです。

広報編集常任委員会  
委員 藤田 光子



## 広報編集常任委員会

- 委員長 藤田 智之
- 委員 鈴木 政夫
- 委員 古市 泰久
- 委員 須藤 俊一
- 委員 藤田 光子